

2018年
CTG

建交労道本部夏季闘争速報

No. 15/2018年8月7日

〒060-0909 札幌市東区北9条
東1丁目北海道労働センター2F
TEL. 011(711)7377
FAX. 011(711)7388
e-mail/kenkoro-do@nifty.com

道労連第31回定期大会

強く大きな道労連をつくろう

労働組合をみせる！大胆な組織変革を！

道労連（北海道労働組合総連合）は8月4～5日に札幌で第31回定期大会を開き、「労組をみせる！大胆な組織変革を！強く大きな道労連をつくろう！」のスローガンのもと、新年度運動方針などを満場一致で決定しました。大会には執行部と16単産17地域組織などから100人が参加し、2日間にわたって積極的な討論をおこないました。建交労からは代議員5人と傍聴者1人が出席して宮澤代議員が大会議長を務め、3人が発言しました。また地域組織（札幌・小樽・滝川・旭川・音更）の代議員として6人が参加しました。

大会には、「戦争をさせない市民の風・北海道」の川原茂雄共同代表、社民党北海道連合の浅野隆雄幹事長、共産党北海道委員会の千葉隆書記長が来賓として出席してあいさつし、立憲民主党北海道連合の佐々木隆博代表からメッセージが寄せられました。大会2日目には、全労連の小田川義和議長があいさつしました。

運動方針案では、組織変革の課題（労組の役割を見直し、産業横断的なルールづくりを展望する）とともに、5万人道労連へ組織拡大・強化、「ディーセント・ワーク」実現をめざすとりくみ（実質賃金の底上げ／「安倍雇用破壊」を止め、職場からディーセント・ワークを確立する）、暮らしを守り政治を変える国民共同のとりくみ（改憲を止め、戦争する国づくりをストップさせる／社会保障、教育の拡充／持続可能な地域経済・社会への転換／震災復興、原発ゼロ、核兵器廃絶／人権と民主主義を守り、政治の民主的な転換）が提案されました。

討論では34人が発言し、各単産・分野、地域でのとりくみと決意が述べられました。総括答弁で出口事務局長は「労働組合をみせるために戦略的なとりくみが必要だ。通常国会で改憲の発議を許さなかったことを確信にしながら、安倍9条改憲を阻止するために全力をあげ、選挙で要求を前進させよう」と強調し、「来年は道労連結成30年であり、必ず増勢で大会を迎え、非正規労働者の組織化で新しい組合の旗を立て、知事選挙・参議院選挙で政治を変えよう」と訴えました。

建交労の代議員3人が討論に参加

大会の討論では、建交労の佐藤代議員が北海道の鉄道を守るとりくみについて、俵代議員が道南での「学童保育総がかり」のとりくみと北海道交運共闘の活動について、土屋代議員が建設現場労働者の賃金・労働条件改善のとりくみについて発言しました。

新しい議長に三上友衛さん(道医労連)

森国副議長、出口事務局長、竹田事務局次長が再選

大会では新年度役員選挙がおこなわれ、6年間にわたり議長として道労連のたたかひの先頭にたってきた黒澤幸一さんが退任し、道医労連の三上友衛さんが新しい議長になりました。黒澤さんは先の全労連大会で事務局次長（専従）に選出されています。建交労からは、森国副議長、出口憲次事務局長、竹田吉宏事務局次長が再選され、旭労連からの執行委員として旭川支部の須貝卓矢さんが新しく選出されました。